

1%の変革が 未来を創る

～生成AI時代のDX戦略～

チー ム
み ら い



チームみらい 党首 安野貴博

AI エンジニア

東京大学工学部
松尾豊研究室卒業
未踏スーパークリエイター

起業家

外資系コンサルBCGを経て
AIChatbot企業創業
リーガルテック企業創業

SF作家

日本SF作家クラブ会員
ハヤカワSFコンテスト受賞
星新一賞優秀賞

党首

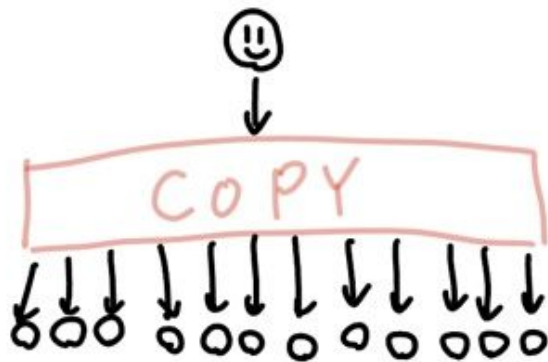
チームみらい 党首
参議院議員
東京都知事選挙 出馬

→ テクノロジーを通じて未来を構想する、を一貫して実施

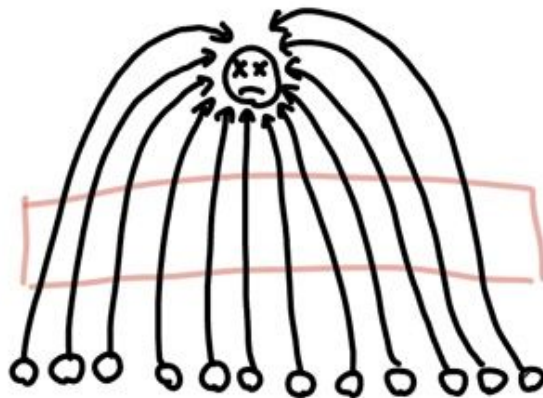
デジタル民主主義のPoCでは何をやったのか

「ブロードリスニング」を用いた双方向型のコミュニケーション実現

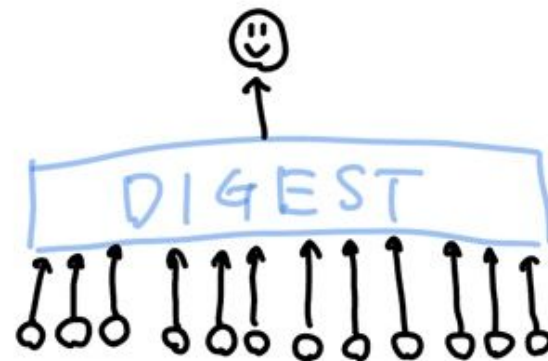
ブロードキャスト
一人の声を多数へ発信



既存の意見募集
受け取り側がパンク



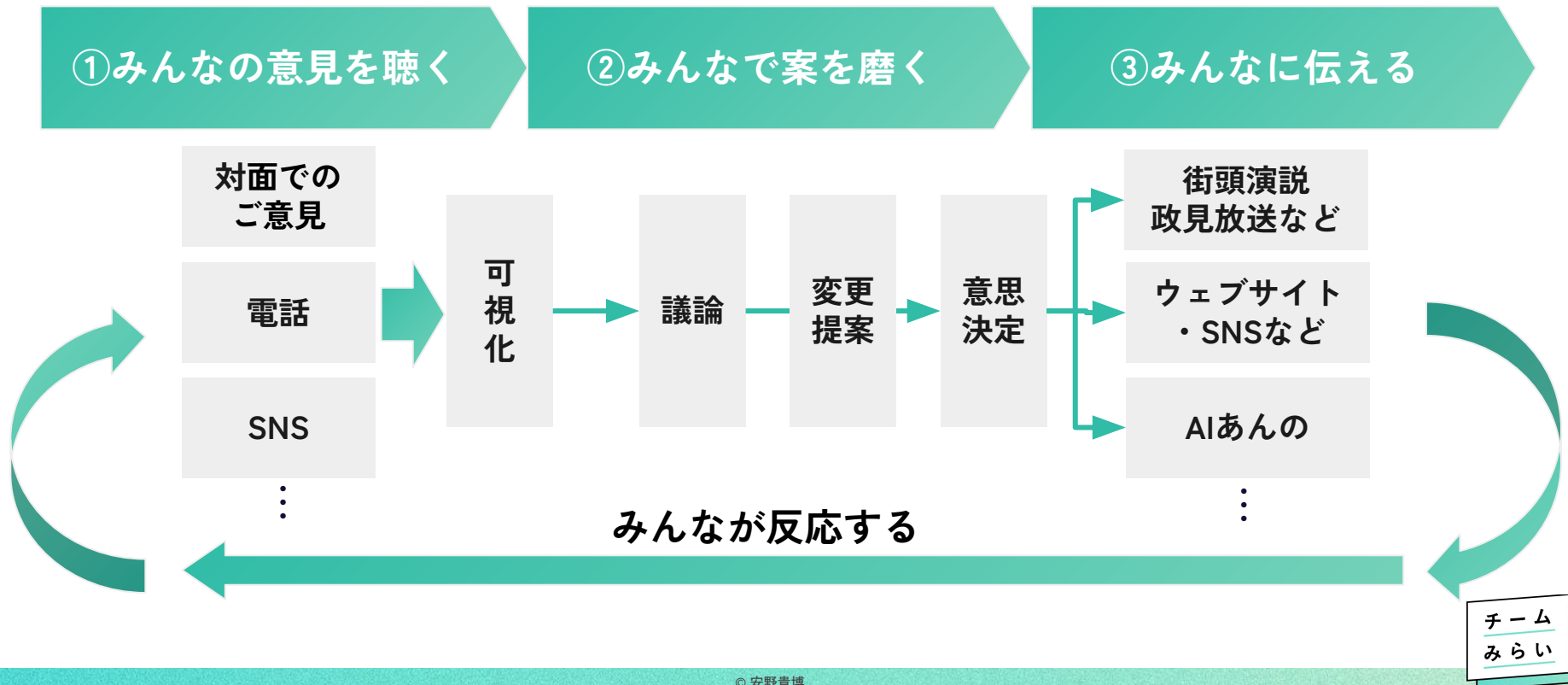
ブロードリスニング
多くの声を上手に収集



テクノロジーを使って、「発信」だけでなく「受信」をアップデート

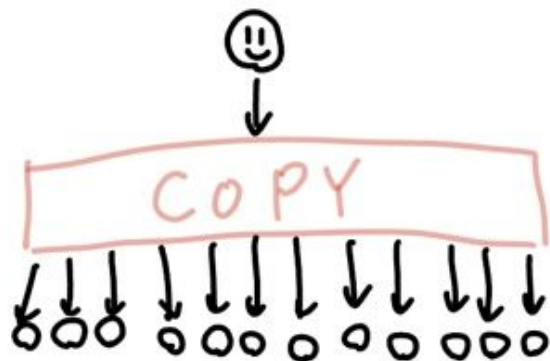
Source: 「主観が客観ではなく、一人の主観から大勢の主観へ」 西尾泰和 This work is marked with CC0 1.0 (この図はCC0ライセンスのもの)

「聴く」「磨く」「伝える」のサイクルを高速に回す

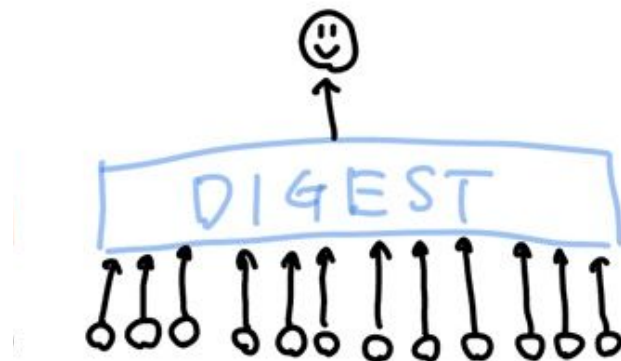


新たなテクノロジーを活用してDXを推進するためには、
既存のワークフローをそのまま置き換えようとしてはいけない

ブロードキャスト
を効率化するだけでなく...



ブロードリスニング
をできるようにする



- 1) めちゃくちゃ遠い分野でもよくよく考えるとAIの使い所は山ほどある
- 2) DXは既存のプロセスをただデジタル化するのではなく、新しい価値創造が可能
- 3) エージェントが間に入ることによって”コミュニケーション”のあり方が変わる